

「アスリートイメージ評価調査」を実施
～なでしこ日本の活躍で女子サッカー選手が上位にランクイン～
「好感が持てる」アスリート1位に川澄奈穂美、「勢いを感じる」アスリート1位に澤穂希
「なでしこ日本の活躍で女子サッカーを以前より好きになった」は、60.1%
「なでしこ日本に感動した」は、41.5%

株式会社博報堂DYスポーツマーケティング(本社:東京都港区 社長:豊田真嗣)は、株式会社博報堂DYメディアパートナーズ(本社:東京都港区 社長:大森壽郎)、データスタジアム株式会社(本社:東京都世田谷区 社長:加藤善彦)と共同で、アスリートの総合的なイメージを測定する「アスリートイメージ評価調査」を行いました。

イメージ総合ランキング上位は、1位にイチロー(野球)、2位に浅田真央(フィギュアスケート)、3位に澤穂希(サッカー)、4位に石川遼(ゴルフ)、5位に長谷部誠(サッカー)となっており、実力と人気を兼ね備えたアスリートの中に澤穂希が3位にランクインし、サッカー日本女子代表のワールドカップ初制覇が大きく影響しているといえます。(敬称略、以下同)

「好感が持てる」アスリートは、1位に川澄奈穂美(サッカー)、2位にイチロー(野球)、3位に長谷部誠(サッカー)、4位に室伏広治(陸上)、5位に内田篤人(サッカー)となっており、ベテラン選手の中で若手選手のランクインが目立っています。

イメージ項目の「親しみやすい」アスリートは、1位に浅田真央(フィギュアスケート)、2位に田中将大(野球)、3位に澤穂希(サッカー)、4位に宮里藍(ゴルフ)、5位に長友佑都(サッカー)となっており、今年の各競技の活躍をベースに今後も期待されている若手アスリートが上位を占めています。

「勢いを感じる」アスリートは、1位に澤穂希(サッカー)、2位に長友佑都(サッカー)、3位にウサイン・ボルト(陸上)、4位に琴奨菊(相撲)、5位に清武弘嗣(サッカー)となっており、今年前半に活躍し、スポーツ界の話題となったアスリートが上位を占めています。

「常にチャレンジ精神を持ち続けている」アスリートは、1位にイチロー(野球)、2位にクルム伊達公子(テニス)、3位に三浦知良(サッカー)、4位に澤穂希(サッカー)、5位に室伏広治(陸上)となっており、実力もあり、常に前向きに戦っているベテランアスリートが上位を占めています。

今回は、通常の調査に加え、「なでしこ日本(サッカー日本女子代表)の活躍による女子サッカーの好感度の変化」「今後の活躍を期待する女子スポーツについて」の質問を行いました。

「なでしこ日本(サッカー日本女子代表)の活躍により以前より女子サッカーが好きになったかどうかの評価」では、「好きになった+やや好きになった:60.1%」。

「なでしこジャパン(サッカー日本女子代表)の試合や報道を通じた活躍による印象評価」では、「感動した:41.5%」「うれしくなった:36.5%」「気持ちが明るくなった:31.0%」となっています。

また、今後の活躍を期待する女子スポーツは、1位にフィギュアスケート、2位にサッカー、3位にマラソン／駅伝、4位にバレーボール、5位にソフトボールとなっています。

この調査はCMキャスティングの際に使用する基礎データとしての活用を主な目的とし、対象アスリートの認知、好意度のほか、博報堂DYメディアパートナーズグループが独自に構築した29項目のイメージ評価によるオリジナル調査です。

今後も定期的に「アスリートイメージ評価調査」を実施し、アスリートのイメージ評価がどのように変化していくのか分析を行ってまいります。

■主な調査結果

1)イメージ総合ランキング上位は、「イチロー」「浅田真央」「澤穂希」

- 1位: イチロー(野球)
- 2位: 浅田 真央(フィギュアスケート)
- 3位: 澤 穂希(サッカー)
- 4位: 石川 遼(ゴルフ)
- 5位: 長谷部 誠(サッカー)
- 6位: クルム 伊達 公子(テニス)
- 7位: 室伏 広治(陸上)
- 8位: 三浦 知良(サッカー)
- 9位: 長友 佑都(サッカー)
- 10位: 北島 康介(水泳)

2)“好感が持てる”アスリートは、「川澄奈穂美」「イチロー」「長谷部誠」

- 1位: 川澄 奈穂美(サッカー)
- 2位: イチロー(野球)
- 3位: 長谷部 誠(サッカー)
- 4位: 室伏 広治(陸上)
- 5位: 内田 篤人(サッカー)
- 6位: 浅田 真央(フィギュアスケート)
- 7位: 長友 佑都(サッカー)
- 8位: 香川 真司(サッカー)
- 9位: クルム 伊達 公子(テニス)
- 9位: 寺川 綾(水泳)

※9位は同率

3) “親しみやすい”アスリートは、「浅田真央」「田中将大」「澤穂希」

- 1位：浅田 真央(フィギュアスケート)
- 2位：田中 将大(野球)
- 3位：澤 穂希(サッカー)
- 4位：宮里 藍(ゴルフ)
- 5位：長友 佑都(サッカー)

4) “勢を感じる”アスリートは、「澤穂希」「長友佑都」「ウサイン・ボルト」

- 1位：澤 穂希(サッカー)
- 2位：長友 佑都(サッカー)
- 3位：ウサイン・ボルト(陸上)
- 4位：琴奨菊(相撲)
- 5位：清武 弘嗣(サッカー)

5) “常にチャレンジ精神を持ち続けている”アスリートは「イチロー」「クルム伊達公子」「三浦知良」

- 1位：イチロー(野球)
- 2位：クルム 伊達 公子(テニス)
- 3位：三浦 知良(サッカー)
- 4位：澤 穂希(サッカー)
- 5位：室伏 広治(陸上)

6) 「今後の活躍を期待する女子スポーツ」は、「フィギュアスケート」「サッカー」「マラソン/駅伝」

- 1位：フィギュアスケート
- 2位：サッカー
- 3位：マラソン/駅伝
- 4位：バレーボール
- 5位：ソフトボール

■調査概要

- ・調査方法： Web 調査
- ・調査地区： 首都圏＋京阪神圏
(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県)
- ・調査対象者： 対象エリアに在住の15～69歳の男女
- ・有効回収サンプル数： 600サンプル
- ・調査期間： 2011年9月29日～10月4日

■この件に関するお問い合わせ先

博報堂DYスポーツマーケティング

経営計画・管理部

木村

03-6441-7990